

上北農業生産情報 第3号

令和5年6月22日
「攻めの農林水産業」推進上北地方本部

【農作業中の熱中症に注意しましょう!!】

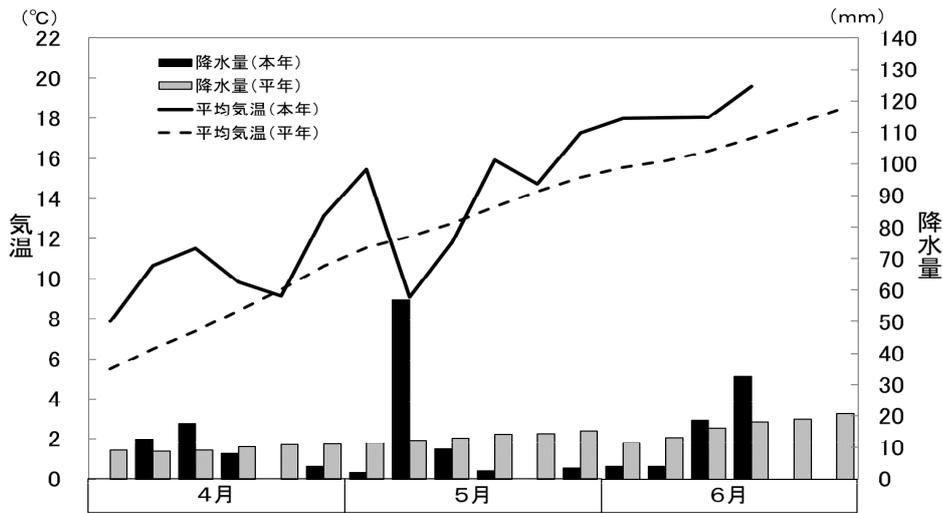
○日中の気温の高い時間帯は極力避けて作業を行いましょ。う。

○作業前・作業中の水分補給とこまめな休憩を取りましょ。う。

○屋外では帽子・吸汗速乾性素材の衣服を着用し、屋内では送風機を活用ましょ。う。

○作業は2人以上で行い、単独作業を避けましょ。う。

気 象



【半月別気温・降水量の推移（十和田アメダス）】

《5月》

- ・平均気温、最高気温、最低気温は期間を通して平年を上回った。
- ・日照時間は、中旬は平年を上回り、上旬、下旬は平年を下回った。
- ・降水量は、上旬は平年を大幅に上回り、中旬、下旬は平年を下回った。

【5月の気象（十和田アメダス）】

項目 時期	平均気温℃		最高気温℃		最低気温℃		日照時間 h		降水量 mm	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
上旬	12.3	11.8	18.0	17.7	6.4	5.9	60.2	63.3	59.0	23.5
中旬	13.9	13.2	19.7	18.8	8.5	7.8	67.3	62.7	12.0	27.1
下旬	16.1	14.7	21.6	20.3	11.0	9.6	69.2	72.7	3.5	29.6

注) 気温は10日間の平均、日照時間と降水量は10日間の合計(下旬は11日間の平均、合計)

《6月上・中旬》

- ・平均気温は、上旬、中旬ともに平年を上回った。
- ・日照時間は、上旬、中旬ともに平年を上回った。
- ・降水量は、上旬は平年を下回り、中旬は平年を上回った。
- ・東北北部の梅雨入りは6月11日で平年より4日早く、昨年より5日遅かった。(6月11日、仙台管区气象台発表)

【6月上旬の気象（十和田アメダス）】

項目 時期	平均気温℃		最高気温℃		最低気温℃		日照時間 h		降水量 mm	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
上旬	18.0	15.7	23.1	20.9	12.6	11.0	60.8	59.7	8.0	24.7
中旬	18.8	16.7	23.3	21.6	14.9	12.6	61.0	48.8	51.0	34.0

注) 気温は10日間の平均、日照時間と降水量は10日間の合計

東北地方 1か月予報(6月17日から7月16日までの天候見通し)

令和5年6月15日 仙台管区气象台 発表

- 平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
- 期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。
- 平均気温は、高い確率70%です。

水 稲

《生育状況》

- 1 管内の田植え最盛期(50%進ちょく)は、平年より1日早い5月20日であった。
- 2 天候が良好であったことから活着は順調で、6月上旬～中旬は高温多照で推移したため、生育観測ほの6月20日現在の生育は草丈、茎数、葉数ともに平年を上回った。

【生育観測ほの生育状況】

品 種	年次	6月20日現在			
		草丈 (cm)	茎数 (本/株)	m ² 茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)
まっしぐら	本年	44.1	11.6	273	7.5
	平年	40.7	9.5	205	7.1

注) 本年値：管内生育観測ほ(13地点)の平均値

平年値：各地点の平年値(前3か年～前17か年の平均値)の平均値

《今後1か月間の主な作業》

1 水管理

- ア 低温時は5～6cmのやや深水にして保温に努める。
高温時は3cm程度の浅水にし、水温と地温の上昇を図り分けつを促進させる。
- イ 株当たり20本程度の茎数を確保した水田では、天候の良い日を選び、中干しを行う。茎数が不足している水田や低温が続く場合には、中干しを行わない。
- ウ 中干しは、田面に軽くひび割れが入る程度とし、幼穂形成期前(7月上旬頃)には必ず終了する。

2 病虫害防除

- ア いもち病
ほ場に放置されている補植用苗は、葉いもちの発生源となるので速やかに処分する。また、葉いもちは、7月上旬頃から見られることが多いので、ほ場をよく見回り、早期発見と早期防除に努める。

葉いもちが例年発生する水田で、水面施用剤の散布を予定している場合は、6月末までに散布する。

イ 斑点米カメムシ類

7月中旬頃までに、畦畔や水田周辺の雑草地などの草刈りを地域ぐるみで行い、斑点米カメムシ類(アヒゲホリミドリカメムシなど)の発生を抑える。

3 肥培管理

幼穂形成期前のつなぎ肥は、倒伏や病虫害の発生要因となるので絶対に行わない。

4 雑草防除

水田内に雑草が多く残っているほ場は、雑草の種類、草丈・葉齢を確認して、中後期剤を適期に散布する。

小麦

《生育状況》

- 1 生育観測ほの出穂期は5月16日で平年より6日早く、開花期は5月24日で平年より5日早かった。
- 2 うどんこ病の発生は平年より多く、その他病害虫の発生は全般的に少ない。
- 3 生育観測ほの6月10日現在の生育は、稈長、穂長及び穂数は平年を上回っている。

【生育観測ほの生育状況（品種：ネバリゴシ）】

調査地	年次	出穂期 (月/日)	開花期 (月/日)	成熟期 (月/日)	6月10日現在		
					稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)
十和田市相坂	本年	5/16	5/24	(7/ 2)	83.7	9.0	972
	平年	5/22	5/29	7/ 8	80.2	7.9	597
	前年	5/17	5/24	7/ 7	80.0	9.0	664

注) 平年値は平成14年～令和4年までの平均値。成熟期は出穂後積算気温からの予測値。

《今後1か月間の主な作業》

1 収穫

ア 収穫適期は出穂後の積算気温で830～950℃、出穂後日数で51～55日が目安である。出穂後の積算気温から推測する管内の小麦の収穫適期は、6月29日～7月11日である。

【積算気温到達日（十和田アメダス）】

積算気温 \ 出穂日	5/12	5/14 (生育観測ほ・赤沼)	5/16 (生育観測ほ・相坂)	5/18
830℃	6/29	7/ 1	7/ 2	7/ 4
950℃	7/ 6	7/ 7	7/ 9	7/11

注) 6月21日までは本年値、6月22日以降は平年値で積算

イ 収穫が早すぎると未熟粒が多くなり、遅すぎると黒かび病や穂発芽の発生により品質が低下するので、適期に刈り取る。

ウ 刈取は、ほ場毎の成熟状況を確認して、子実水分が30%以下（穂を手でもむと脱粒しやすく、子実は爪で割れにくい状態）になった頃をめぐり行う。

エ 倒伏や穂発芽した小麦は、別刈り、別乾燥、別調製する。

大豆

《生育状況》

- 1 一般ほ場のは種作業は例年並の5月末から始まり、天候が良く順調に作業が進んだ。
- 2 生育観測ほのは種期は平年より2日早い6月5日で、出芽期は平年より3日早い6月12日であった。出芽は良好である。

【生育観測ほの生育状況（品種：おおすず）】

調査地	年次	は種期 (月/日)	出芽期 (月/日)
十和田市切田	本年	6/ 5	6/12
	平年	6/ 7	6/15
	前年	6/12	6/20

注) 平年値は平成13年～令和4年の平均値

《今後1か月の主な作業》

1 中耕・培土

1回目は、本葉2～3葉の展開期(は種後1か月頃)に子葉が完全に隠れる程度まで行い、2回目は本葉5～6葉の展開期(例年7月15日頃)に初生葉が隠れる程度まで土寄せする。

2 病害虫防除

必要に応じて、アブラムシ類や食葉性害虫の防除に努める。

ながいも

《生育状況》

生育観測ほの植付期は、平年より7日早い5月5日で、萌芽揃い期は平年より5日早い6月1日であった。

【生育観測ほの生育状況(庄司系1年子芽付き種子)】

調査地	年次	植付期 (月/日)	萌芽揃い期 (月/日)
東北町子ノ鳥平	本年	5/5	6/1
	平年	5/12	6/6
	前年	5/9	6/8

注) 平年値は平成25年～令和4年の平均値

《今後1か月の主な作業》

1 第1回目の追肥

ア 早植栽培(頂芽付1年子、4月下旬～5月上旬植付け)

種子の養分が少なくなる植付後50～60日頃が適期で、6月中旬～下旬頃、新しいも長3～5cm、つる長100～150cmを目安に、窒素成分で10a当たり5kg程度行う。

イ 普通栽培(子いも：5月中旬～6月上旬、切いも：5月下旬～6月上旬植付け)

子いもは植付後45～55日頃(7月中旬頃)、切いもは植付後55～65日頃(7月中旬～下旬頃)が適期で、新しいも長10～15cm、つる長200～220cmを目安に、窒素成分で10a当たり5kg程度行う。なお、切いもの場合、つるの伸長が遅れ気味となるので、必ず新しいも長を確認する。また、低温によりつるの伸長が遅れている場合も、新しいも長を目安にする。

にんにく

《生育状況》

- 1 生育観測ほの6月10日現在、地上部の生育は平年を下回っているが、球径は平年並、球重は平年をやや上回っている。
- 2 収穫作業は早いところで6月10日頃から始まっている。JA十和田おいらせ・JAおいらせ管内で6月20日頃に、JAゆうき青森で6月25日頃に収穫盛期を迎える見込み。

【生育観測ほの生育状況】

調査地	年次	6月10日現在				
		草丈 (cm)	生葉数 (枚)	茎径 (mm)	球径 (mm)	球重 (g)
七戸町榎林	本年	75.7	6.9	16.4	54.6	85.0
	平年	82.7	8.1	20.8	54.8	74.0
	前年	83.0	7.3	21.6	71.0	126.7

注) 平年値は平成8年～令和4年の平均値

《今後1か月間の主な作業》

1 収 穫

- ア 収穫は、ほ場ごとに球の肥大状況を確認し、盤茎部とりん片の尻部がほぼ水平になった株が半分以上になったら行う。
- イ 葉の枯れ上がりが早いほ場、春腐病やさび病の多発ほ場は、早めに収穫する。
- ウ イモグサレセンチュウによる被害が疑われる場合は農協や普及振興室に確認診断してもらう。

2 乾 燥

- ア イモグサレセンチュウの盤茎部への侵入を防ぐため、収穫後はすみやかに根を切り落として乾燥する。
- イ 暖房機の温度設定は上限を35℃とし、乾燥施設内の温度が40℃以上にならないようにする。
- ウ 乾燥施設内の通風・除湿は確実にいき、乾燥中の障害発生（煮え症状など）の防止に努める。

3 土壌病害虫発生ほ場の次年産への対策

- ア イモグサレセンチュウ、黒腐菌核病の発生が見られたほ場のにんにくは、種子として使用しない。
- イ これらの土壌病害虫が発生したほ場では連作しない。ただし、別ほ場を準備できない場合は、土壌処理剤で土壌消毒した上で、健全種子を植え付けるなど、被害の軽減に努める。

ごぼう

《生育状況》

- 1 生育観測ほは、は種期が平年より早く、5月の気温・日照時間が平年より多く、適度に降水もあったことから生育は順調に進み、草丈、葉数ともに平年を上回った。病害虫の被害は見られていない。
- 2 一般ほ場の生育は順調である。
- 3 アブラムシ類が5月中旬から見られている。

【生育観測ほの生育状況（品種：柳川理想）】

調 査 地	年次	は種期 (月/日)	6月10日現在	
			草丈 (cm)	葉数 (枚)
三沢市猫又	本年	4/28	14.9	2.7
	平年	5/ 1	10.3	1.8
	前年	5/11	7.6	0.7

注) 平年値は平成25年～令和4年の10か年平均値

《今後1か月間の主な作業》

- 1 中耕除草・培土等を行う。
- 2 ヒョウタンゾウムシ類及びアブラムシ類の防除を徹底する。

ばれいしょ

《生育状況》

- 1 生育観測ほの6月10日現在の生育は、5月の乾燥の影響により、草丈、茎数ともに平年を下回っているものの、着蕾期は平年より6日、開花期は平年より5日早く、順調である。
病害虫の発生は見られない。
- 2 一般ほ場のマルチ栽培の開花期は5月第5半旬から始まっており、生育は順調に進んでいる。病害虫は特にみられない。

【生育観測ほの生育状況（品種：メイクイン、黒マルチ）】

調査地	年次	植付期 (月/日)	萌芽期 (月/日)	着蕾期 (月/日)	開花期 (月/日)	6月10日現在	
						草丈 (cm)	茎数 (本)
三沢市庭構	本年	3/25	4/24	5/19	6/3	56.0	2.0
	平年	4/2	5/4	5/25	6/8	65.0	2.4
	前年	4/3	5/3	5/24	6/6	57.5	1.7

注) 平年値は平成25年～令和4年の過去10か年平均値

《今後1か月間の主な作業》

- 1 疫病を中心とした病害虫の防除を徹底する。
- 2 刈り取りによる茎葉処理は、収穫5～7日前に行う。茎葉枯凋剤を用いる場合は、各剤の使用時期に注意する。
- 3 茎葉の枯れ、いもの表皮のコルク化を確認してから収穫する。

りんご

《生育状況》

生育観測ほの「ふじ」の6月11日現在における果実肥大（横径）は3.2cmで、平年比127%、前年比104%であった。なお、黒石市（りんご研究所）における果実肥大（横径）は3.7cmで、平年比142%、前年比112%となっている。

【生育観測ほの生育状況】

調査地	品種	6月11日現在の果実肥大(横径)				
		本年 (cm)	平年 (cm)	平年比 (%)	前年 (cm)	前年比 (%)
十和田市米田	ふじ	3.2	2.6	127	3.1	104

注) 平年値は平成28年～令和4年の7か年平均値

《今後1か月間の主な作業》

- 1 摘果
ア 果実の生育を確保するために、仕上げ摘果は早めに終える。
イ 一通り摘果を終えた園地でも、収穫時まで随時見直し摘果を行う。
- 2 病害虫防除
ア りんご病害虫防除暦に基づき、計画的な防除を行う。
イ 今後8月末までの防除では、モモシンクイガの防除剤を毎回混用する。
ウ 腐らん病の発生が多い。枝腐らんは6月以降も発病してくるので、見つけ次第切り取り、胴腐らんは再発病斑を含め、適切に処置を行う。

りんどう

《今後1か月間の主な作業》

1 ネット上げ

生育に合わせてネット上げを行う。地面からの高さは1段目が約30cm、2段目が約50cm、3段目が約80cmとする。

2 かん水

うね面が乾いてきたらかん水を行う。特に新しく苗を定植したほ場では、こまめにかん水を行い、乾燥しないようにする。

3 病害虫防除

昨年褐斑病が発生したほ場は、本年も発生しやすいため予防防除に努める。また、ほ場やその周辺の雑草がアザミウマ類やハダニ類の発生源となるため、除草を行う。

グラジオラス

《今後1か月間の主な作業》

1 定植ほ場の選定と準備

ア 日当たりと排水性の良いほ場を選ぶ。また、連作障害が出やすいので、過去数年間作付けしていないほ場を選ぶ。乾腐病が発生したほ場では栽培を避けるか土壌消毒を行う。

イ ベッド幅は100cmとしマルチを張る。12～15cm目のフラワーネットを張る。

2 定植

腐敗球を注意深く取り除き、健全なものを定植する。5cm程度の深さで芽を上にして植え付ける。

牧草

《生育状況》

生育観測ほ（オーチャードグラス）の出穂期は平年より3日早く、1番草の10a当たり乾物収量は397kgで平年比108%であった。

【生育観測ほの生育状況（オーチャードグラス）】

調査地	年次	出穂始 (月/日)	出穂期 (月/日)	刈取日 (月/日)	草丈 (cm)	乾物収量 (kg/10a)
十和田市米田	本年	5/15	5/17	5/22	89.0	397
	平年	5/16	5/20	5/23	82.4	366
	前年	5/13	5/17	5/23	84.0	357

注) 平年値は平成25年～令和4年の10か年平均値

《今後1か月間の主な作業》

1 1番草収穫及び追肥

牧草（チモシー）は、遅くても開花始期までに刈り取り、乾草又はサイレージに調製する。また、2番草の収量を確保するため、刈取後は速やかに追肥する。

2 雑草防除

ギシギシ等の雑草が多く見られる場合は、除草剤を散布する。

飼料用とうもろこし

《生育状況》

生育観測ほでは、は種作業時期はほぼ平年並で、順調に生育している。

【生育観測ほの生育状況（品種：パイオニア115）】

調査地	年次	は種日 (月/日)	出芽期 (月/日)
東北町北栄	本年	5/22	5/31
	平年	5/21	5/30
	前年	5/21	5/27

注) 平年値は平成25年～令和4年の10か年平均値

《今後1か月間の主な作業》

雑草が目立つほ場では、雑草の種類に応じた生育期処理用の除草剤を選択して散布する。